

## メッセージ

### ロシアのウクライナ侵攻に抗議

## プーチンの主張にはだれも納得しない

小林寿太郎

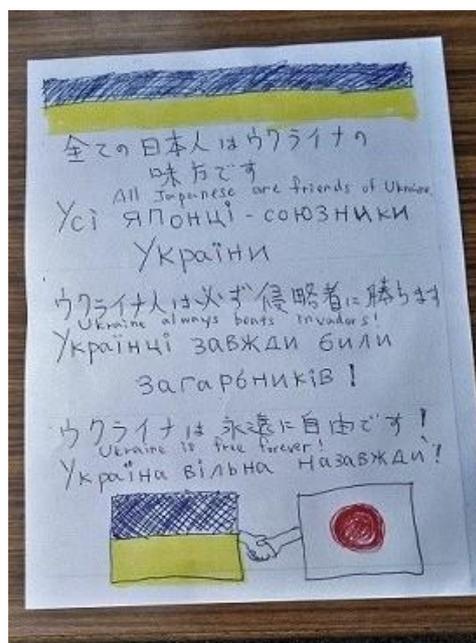
プーチンによるウクライナ侵攻に全世界から非難の声が上がっている。プーチンは、ウクライナはロシアと一体であると主張して侵攻を正当化しているが、誰がこの言い分に納得するだろうか。私は50年近く前にモスクワからキエフまで鉄道で旅行したことがあるが、キエフでは商店の看板などはロシア語を知っていれば大体分かるのでウクライナ語はロシア語と非常に似ていることがわかった。

しかし国営旅行社のロシア人は、ウクライナ人同士が早口でしゃべっていると、全く意味がわからないと言っていた。ロシア革命の指導者、トロツキーはウクライナの裕福な農家の出身だが、家庭ではロシア語とウクライナ語をミックスしたような言葉を使っていたという。



港区のウクライナ大使館と激励の市民

大使館前に寄せられた連帯のメッセージ



またウクライナのゼレンスキー大統領は家庭ではロシア語を使っていたというように、ウクライナではロシア語が広く使われている。ロシア語とウクライナ語、ベラルーシ語は古東スラブ語という共通の祖先から15世紀ころ別れたとされている。

ウクライナはロシアの一部としてしか生きられないという、プーチンの言い分は滅茶苦茶ではあるが、両者の歴史的関係は深い。

モスクワからキエフに旅行した際のことが、旧ソ連の鉄道はレールの幅は新幹線より広いが、速度は日本の在来線よりゆっくりなので、モスクワを夕方に出てキエフに着いたのが昼ころだった。モスクワは東洋風の雰囲気だったが、キエフは西欧風でパリのようだ

った。両者は、祖先は同じでも文化的伝統の違いは大きいと感じた。

日本でもウクライナへの同情、ロシアへの抗議などの動きが広がっている。2月26日に、港区の閑静な住宅街にあるウクライナ大使館に出かけたが、周辺は静かで警備の警官は一人もいない。3階建のビルに国旗が翻り、数人がお見舞いに訪れていた。玄関前の机には花束や日本語、英語、ウクライナ語で書かれた激励の手紙などが置かれていた。

次に同じ港区だが大通りに面したロシア大使館に出かけた。大使館をはさんで大通りの両側に臨時ゲートが設置され、宣伝車やデモなどが入って来られないようにしている。大使館前には多数の警備車両が並び、大勢の警官が警戒している。それでも数人の市民が抗議の声をあげていた。そのなかに英語のプラカードを掲げた外国人がいたので話しを聞いてみた。

自分はロシア人だがプーチンの戦争を止めたいと語っていた。大使館は高い塀と深い木立に囲まれて、なかの様子はわからない。

ウクライナ大使館に置かれた花やメッセージ



しかし、大使館が日本の市民の動きを気にしていることは確かだと思う。だから抗議の声を上げていくことは大切なことだと思う (写真は2月26日、筆写撮影)

### ウクライナへの軍事侵略に抗議 直ちに撤退せよ 全労連が事務局長談話

全労連は2月25日、「ロシアのウクライナへの軍事侵略に強く抗議し、直ちに撤退を求め」とする黒澤幸一事務局長名の談話を公表。

これは主権国家へのまぎれもない軍事侵攻であり、全労連はロシアの軍事侵略を断固糾弾すると表明しています。そして、「ロシアがウクライナ東部の2地域を独立国とみなす一方的措置を取り、そこからの要請としてロシア軍の侵攻を決めた」ことについて、「一方的に『独立』を認めた地域・集団との『集団的自衛権』は国際法上根拠がなく、ウクライナを主権国家と認めない態度は、国際的にも全く受け入れられない」と非難。ロシアに軍事侵略を直ちに中止し、外交交渉テーブルに戻ることを求めるとしています。

### ウクライナ軍事侵攻に対する談話 連合が公表

2月24日、連合は「ロシアのウクライナ軍事侵攻に対する談話」を清水秀行事務局長名で公表しました。談話では、「1、国際法に反する行為を厳しく非難する」として、即時の作戦中止・撤退を求め、「2、平和と安定の回復へ国際社会の迅速な対応を」を訴えています。

### 直ちに戦争停止を求める 全労協が事務局長談話

全労協は2月24日「ロシア軍のウクライナ侵攻を糾弾し、直ちに戦争停止を求める」とする緊急談話を中岡基明事務局長名で公表。ロシア・プーチン大統領に対し直ちに戦争行為を停止し、アメリカとNATOに対しても軍事的反応を起こさないことを要求しています。